

## 秋の風土記の丘

### 令和6年度秋期特別展を開催中です

風土記の丘では、現在、秋の特別展「数多の古墳を築く―群集墳からよむ古墳時代―」を開催しています（12月8日まで）。群集墳とは一地域に小規模の古墳（大半は円墳）が集中する古墳群のことで、風土記の丘がある岩橋丘陵に造られた岩橋千塚古墳群は、国内有数の規模をもつ群集墳として特別史跡に指定されています。

古墳時代の後期には全国的に群集墳がみられるようになりますが、それらは決して一様ではありません。造営の時期や石室の構造、あるいは同時期に造営された近在の大型古墳との関係など、それぞれに特徴があり、そこから古墳時代の地域社会や権力のあり方を考える材料とされています。

今回の特別展は、比較的大規模に造られた近畿地方の群集墳と比較しながら、岩橋千塚古墳群の特徴を浮かび上がらせようとしたもので、大和・河内・紀伊の古墳群を中心に今までになく多くの出土品を展示しています。ぜひ、ご一見ください。

11月17日（日）にはシンポジウムも予定しております。



【特別展入口】



【写真撮影コーナー】

石室内の埋葬の様子をモデル化しました。衣装も用意しています。

## 秋の行事あれこれ

秋にはさまざまな行事が開催されますが、風土記の丘でも同じです。10月6日（日）には、ふどキッズの稲刈りが行われました。



最初は石包丁で稲の穂を摘み取る穂くび刈りを体験し、次いで鎌で根刈りをして、それを数株まとめて束ね、天日干しのために竹で組んだ干し場にかけるまでの作業をしてもらいました。

最初はおっかなびっくりの様子だった子どもたちが、ぐんぐん上手になっていくのを見るのは楽しいものです。次は、収穫した米を土器で炊く体験（12月8日）が予定されています。

10月27日（日）には風土記まつりが行われました。天候に不安があったため資料館のピロティを中心としたブース設定になってしまいましたが、和歌山県立博物館・和歌山県立近代美術館・和歌山県立図書館・和歌山県世界遺産センター・公益財団法人和歌山県文化財センター・和歌山市立博物館・田辺市立歴史民俗資料館・南紀熊野ジオパーク推進協議会・きみの自然体験館・社会福祉法人一麦会・つむぎ共同作業所の11団体の皆さんの参加を得て、多くの来訪者を迎えることができました。

紀伊風土記の丘も、職員総出で各種の競技の進行につとめ、ボランティアの会の皆さんも古代衣装を着ての写真撮影や、古



墳ガイドツアーなどをしてくださいました。来訪して下さった方々、ならびに体験プログラムの提供や物販などご参加いただいた皆様に篤く御礼申し上げます。

### 紀伊風土記の丘の工事について

現在、風土記の丘の駐車場から資料館へ向かう道路と、資料館西側の岩橋丘陵に接する地区で工事が進められており、近隣の皆様、風土記の丘の利用者の皆様にはご迷惑をおかけしております。この工事は、新館建設に伴う工事車両の進入路（新館建設後には風土記の丘への車両進入路として利用します）を整備するとともに、新館建設に先立って奥側（西側）に配置する駐車場や収蔵庫などを整備する必要から行われているものです。

また、10月下旬から天王塚古墳の今年度の整備工事が始まりました。これに伴い、工事車両が資料館の東側から天王塚古墳まで往復しておりますが、とくに道路幅が狭い東側トイレから天王塚古墳までの間は、工事の実施中は歩行者の安全確保の面から閉鎖しております。この点についてご理解を賜りたくお願いいたします。